

302

「赤色立体地図」が解き明かす かわさき ～地形の成り立ちと特徴～

【定員】40名 【受講料】 2年会員5,720円 1年会員6,435円 聴講生8,580円

連携（アジア航測） 【時間】毎回15時00分～16時30分

概要

アジア航測が開発した地形が立体的に見える「赤色立体地図」。この地図を通してさまざまな視点から川崎を解明します。赤色立体地図発明者の千葉達朗と、地形や歴史に造詣が深く、その道の専門家たちによる講義。新旧の地形図や航空写真から土地の歴史や安全性などについても学びます。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/18(水)	新百合21 ビルB2 第2会議室	赤色立体地図発明者が見た川崎のひみつ 丘陵・平野・埋立地	アジア航測(株) 先端技術研究所千葉研究室 室長 千葉 達朗
2	10/25(水)		現場をみてわかった令和元年多摩川水害 歴史と地形	帝京平成大学 環境情報学研究科 准教授 小森 次郎
3	11/ 1(水)		多摩川砂利の近代史 採取と輸送	川崎市市民ミュージアム 学芸員 鈴木 勇一郎
4	11/ 8(水)		川崎の地形と石造物 七沢石はなぜここにあるのか	横浜市歴史博物館 副館長 主任学芸員 刈田 均
5	11/15(水)		地図の深読み 新旧地形図からわかる川崎市域の発展	(一財)日本地図センター客員研究員 地図研究家 今尾恵介
6	11/22(水)		川崎市の宅地造成と盛土 地盤専門家、家を建てる	アジア航測(株) 西日本インフラ技術部社会インフラ技術一課 課長 藤田 安秀

連絡事項

日程、学習内容、講師は変更されることがあります。